

研究者とURA・図書館が築くオープンアクセス ：岡山大学図書館の研究支援事例



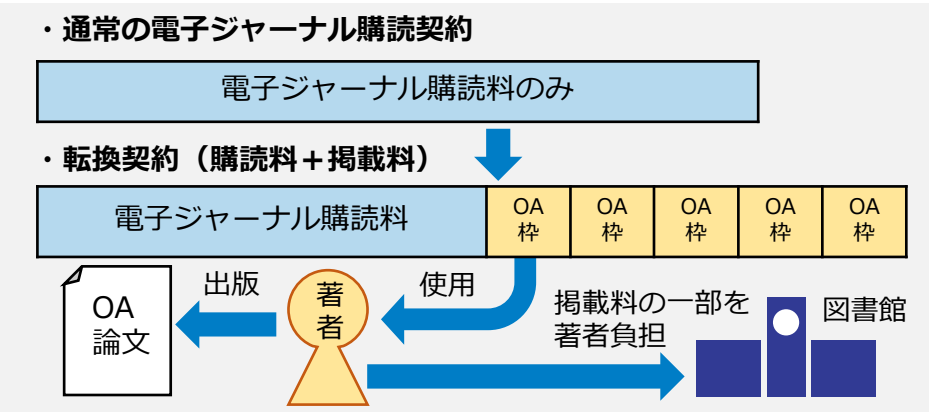
岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

高橋 辰弥¹、羽田 まどか¹、石丸 綾華¹、大園 隼彦¹、久磨 由美子¹、小林 健輔²
¹岡山大学図書館、²岡山大学研究・イノベーション共創機構

どうする？ 即時オープンアクセス義務化支援

2025年度から新規公募分の競争的研究費（科学研究費助成事業等）の受給者に対して、**学術論文及び根拠データの即時オープンアクセス（OA）化が義務づけられた。**
岡山大学図書館では学術論文のOA化を支援するため、URAとの協働の中で以下の3つの支援制度を運用している。

支援① 転換契約（Read & Publish）



⇒2024年は転換契約で200件近いOA出版を達成

- しかし…
- ・転換契約の取り扱いのないジャーナルも多数
 - ・フルOA誌はほぼ転換契約対象外

支援② APC直接支援（大学独自支援）

転換契約の対象にならない論文のうち、ハイ・インパクトジャーナル掲載論文のOA掲載料支援を大学独自で実施。

- ・大学としてよりよい支援の要件設定および、支援要件設定のための事前データ分析をURAに依頼。
- ・設定した要件に当てはまる論文のOA掲載料を大学が支援。
- ・転換契約の著者負担金を支援財源の一部として活用することで、支援制度の持続可能性を強化。
- ・2024年はQ1ジャーナル掲載論文を対象。
⇒約100件の論文のOA出版を達成
- ・2025年はTOP10%ジャーナル掲載論文を対象。若手教員には著者負担金を減額。

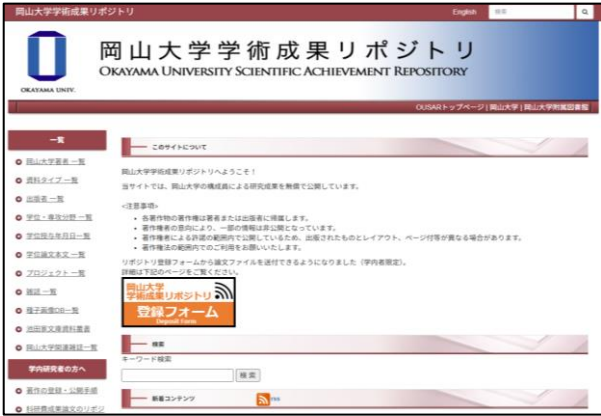
支援①②の対象外 または APCの支払いを希望しない場合…
機関リポジトリに論文を登録することにより無償で即時OA義務に対応できる →支援③

支援③ 岡山大学学術成果リポジトリ

- ・本学リポジトリは2024年度のOA加速化事業によりシステム改修を行い、研究成果の登録フローを構築した。

- ① researchmap から本学教員の研究業績を抽出
- ② 論文の責任著者と判定された教員へリポジトリ登録のご案内メールを送信
- ③ 教員はメール内のURLから登録申請システムへログインし、**著者最終稿と根拠データ**を送信

- ・改修に当たっては、**ストレージ必要量の計算や研究系データベースとの連携等の部分でURAと協働。**



どの支援制度を選べばいいかわからない…そんな時は！

オープンアクセス支援制度マッチングツール

JOURNAL SUPPORTER β
投稿先ジャーナルの支援状況について調べられるサービスです。
投稿先ジャーナルの出版社は以下のリストに含まれていますか？

- The Company of Biologists
- Elsevier
- Oxford University Press
- Royal Society of Chemistry
- Springer Nature
- Wiley

含まれていますか？

2025 TOP 10% JOURNAL CHECKER
ISSNを入力することで2025年度「インパクトの高い国際的な学術雑誌へのAPC支援」の対象かどうかを確認頂けます。
支援制度の詳細情報は[こちら](#)のページをご確認ください。
ジャーナルチェッカーで検索した結果、表示されるジャーナルは2025年度APC支援制度の対象誌です。
検索ボックス(ISSNを入力してください)

- ・支援①から③のどの支援を利用できるか、マッチングするツール。
- ・OA支援制度が3種類に増えたことで、制度と利用者をマッチングするツールが必要となった。
- ・図書館がマッチングのチャートを作成し、それを基に**URAがマッチングツールを作成して学内へ公開。**

研究者が複数の支援を一括で把握できる制度を構築し、全学で効果的な研究支援ができるようにURAと協働して模索中である。